

## I 概要

### 【内政】

- 16日 FARCとの和平交渉の中断

### 【外交】

- 1日 太平洋同盟・メルコスール閣僚級会議の開催（於：カルタヘナ）
- 1～7日 サントス大統領の欧州歴訪
- 10～16日 オルギン外相の中東歴訪
- 18日 ニカラグアとの海域画定条約締結に向けた検討の開始
- 19日 オルギン外相のベネズエラ訪問
- 20～21日 ガルシア＝マルゲージョ・スペイン外務・協力相の当国訪問
- 24日 張徳江中国全人代常務委員会委員長の当国訪問
- 23～25日 プルメン・オランダ外国貿易・開発協力相の当国訪問
- 26日 パティニーニョ・エクアドル外相の当国訪問

## II 本文

### 【内政】

#### 1 FARCとの和平交渉の中断

##### (1) FARCによるアルサテ将軍の誘拐

16日、国軍のアルサテ将軍がチョコ県においてFARCに誘拐された。同日夜、サントス大統領は和平交渉の中断を指示した。

##### (2) FARC側記者会見

18日午前、FARCは、アルサテ将軍及び同行者2名を「捕囚」したことを認めた上で、和平交渉は継続するべきであると主張した。

同会見中、パブロ・カタトゥンボ西部師団長は、アルサテ将軍は戦場において軍務遂行中に捕囚されたがFARCは交渉を継続する意思があること、双方が停戦しないかぎり同様の事態は起こり続けること等を述べた。

##### (3) FARCによる別の国軍兵士2名の解放

25日、9日にアラウカ県でFARCに誘拐されていた国軍兵士2名が解放された。

##### (4) アルサテ将軍の解放

30日、アルサテ将軍及び同行者2名が解放された。解放後、イバン・マルケスFARC書記局員は、ゲームのルールを再設定する必要があること、双方向の停戦を実施し、休戦協定に署名すべき時期にきている旨述べた。サントス大統領は、紛争が継続している中で交

渉することは、交渉が果てしない議論に陥ることを避けるための最良の方法であったと確信している旨述べた。

## 【外交】

### 1 太平洋同盟・メルコスール閣僚級会議の開催（於：カルタヘナ）

1日、当国カルタヘナにおいて太平洋同盟・メルコスール閣僚級会議が開催され、太平洋同盟議長国のメキシコとメルコスール議長国のアルゼンチンがそれぞれの統合枠組につき説明をした。

### 2 サントス大統領の欧州歴訪

1～7日、サントス大統領は欧州諸国を歴訪した。

#### （1）スペイン

1～3日（公式訪問は3日のみ）、スペインを訪問したサントス大統領は2日、レアル・マドリッドに所属するコロンビア人のハメス・ロドリゲス選手と在スペイン・コロンビア大使館において懇談したほか、ABC紙とのインタビューに応じた。

3日、サントス大統領は、ラホイ・スペイン首相と会談し、ラホイ首相は、スペインとしては、コロンビアがEUに対して支援を要請している紛争後のための基金設置につき支持する旨述べた。

#### （2）ベルギー

4日、ベルギーを訪問したサントス大統領は、フィリップ・ベルギー国王と会談したほか、シャルル・ミシェル・ベルギー首相と会談した。フィリップ国王はアストリッド王女のコロンビア訪問時の接遇に対する謝意を述べた。サントス大統領は、ミシェル首相に対して、シェンゲン協定国におけるコロンビア人の査証免除措置導入に向けた支援に謝意を表した。

#### （3）EU

同日、サントス大統領は、ファン＝ロンパイ欧州理事会議長と会談し、同理事長は、和平交渉が終結した際には、和平合意実現のための具体的な支援をコロンビアに対して実施する用意がある旨述べた。

サントス大統領はマルティン・シュルツ欧州議会議長とも会談したところ、同議長は、欧州議会としては、ハバナでの和平交渉の合意に向けたサントス大統領の努力を支持する旨述べた。

なお、サントス大統領は欧州議会外交委員会において和平交渉の進捗状況を説明した。

#### （4）ドイツ

5日、ドイツを訪問したサントス大統領は、メルケル・ドイツ首相と会談し、メルケル首相は、ドイツはFARCとコロンビア政府との和平交渉を支持するとともに、他の反政府組織との和平交渉実現についても支持する旨述べた。

メルケル首相はまた、経済協力省に対して、コロンビアの和平後支援のために必要なプロジェクトを検討するように指示した。なお、メルケル首相は、50年間の紛争の和平交渉としては、2年間という交渉期間は非常に短いものである旨述べた。なお、現在から2

016年までの間ドイツは、コロンビアの和平構築及び国民和解のために、毎年75百万ユーロの（融資のための）基金を準備した。

#### （5）ポルトガル

6日、ポルトガルを訪問したサントス大統領は、アニーバル・カヴァコ大統領と会談し、カヴァコ大統領は、ポルトガルは、サントス大統領が進めている対話を通じた武力紛争の終結の努力を支持する旨表明した。

#### （6）フランス

7日、フランスを訪問したサントス大統領は、オランダ大統領と会談し、オランダ大統領は、フランスは和平交渉を支持するとともに、和平後に起こるであろうこと（和平後の課題への取り組み）についても支持する旨、またEUは、和平後の懸案事項についても注視する旨述べた。

オランダ大統領はまた、コロンビアに対して、農産食品分野、インフラ分野及び防衛分野で協力の可能性がある旨述べた。

#### （7）OECD

同日、サントス大統領は、OECD理事会に出席し、コロンビアのOECD加盟のための工程表における進捗状況を述べた。

#### （8）英国

7日、英国を訪問したサントス大統領は、ニック・クレグ英国副首相と会談し、クレグ副首相は、与野党関係なく持続可能な和平合意の達成に向けた取り組みを支持する旨述べた。

### 3 オルギン外相の中東歴訪

10～16日、オルギン外相は、中東を歴訪した。

#### （1）ヨルダン

10～11日、オルギン外相は、ヨルダンを訪問し、10日、リヤード・マリキ・パレスチナ自治政府外務庁長官と会談した。当初オルギン外相は、ラマッラにおいて、同自治政府外務庁長官と会談する予定であったが、陸路でのラマッラ入域がイスラエル当局から認められず、イスラエルに立ち寄る時間もなかったため、アンマンで会談することとなった。

11日、オルギン外相は、ナーセル・ジュデ・ヨルダン外相と会談し、二国間の様々な協力の可能性につき協議した。

#### （2）クウェート

12日、オルギン外相はクウェートを訪問し、サバハ首長、ジャービル首相、サバーハ・アル・ハーリド外相とそれぞれ会談した。サバハ首長は、コロンビア外相による初のクウェート訪問を歓迎した。サバーハ・アル・ハーリド外相は、コロンビアにクウェート大使館を開設することに対し関心を示した。オルギン外相はまた、中東初のファン・バルデス（コーヒー・チェーン店）の店舗を視察した。

#### （3）アラブ首長国連邦

15日、オルギン外相は、アラブ首長国連邦を訪問し、アブダラー外相と会談し、中東情勢につき意見交換した。同会談において両国が近年互いに大使館を開設したことの意義を強調した。両外相は、両国間の政策協議に関する覚え書き、協力のための共同委員会設置のための覚え書き、及び外交・公用旅券の査証を免除する協定に署名した。

#### 4 ニカラグアとの海域画定条約締結に向けた検討の開始

18日、サン・アンドレス島において開催された会議に出席したサントス大統領は、同席したオルギン外相に対し、2年前の対ニカラグア「領土及び海洋紛争」事件に関するICJ判決は、憲法裁判所が新たな二国間条約が締結されない限り適用不可能としていたため、本件問題を解決するための二国間条約についてニカラグアと交渉を開始するよう指示した。

#### 5 オルギン外相のベネズエラ訪問

19日、オルギン外相は、ベネズエラを訪問し、マドゥーロ大統領と会談したほか、ラミレス・ベネズエラ外相と二国間委員会を開催し、コロンビア側は、アルバレス＝コレア商工・観光大臣、ゴンサレス鉱山・エネルギー大臣、モラノ情報技術・通信大臣等が参加した。

#### 6 ガルシア＝マルゲージョ・スペイン外務・協力相の当国訪問

20～21日、ガルシア＝マルゲージョ・スペイン外務・協力相が当国を訪問し、21日、サントス大統領及びオルギン外相とそれぞれ会談した。ガルシア＝マルゲージョ外務・協力相は、サントス大統領に対して、和平交渉に対するスペインの支持を改めて表明した。オルギン外相との会談後、ガルシア＝マルゲージョ外務・協力相は、コロンビアを紛争後に支援するためのEUが準備している基金について言及した。

#### 7 張徳江中国全人代常務委員会委員長の当国訪問

24日、張徳江中国全人代常務委員会委員長は当国を訪問し、サントス大統領と会談し、コロンビアの和平交渉を全面的に支持する旨述べた。同会談においては、二国間関係の強化についても協議された。

同委員長は、両院議長とも会談したほか、オルギン外相主催夕食会に出席した。

#### 8 プルメン・オランダ外国貿易・開発協力相の当国訪問

23～25日、プルメン・オランダ外国貿易・開発協力相は、オランダ企業35社の代表とともに当国を訪問し、24日、オルギン外相と会談した。同会談において、両外相は、二国間航空協定に署名した。

#### 9 パティーニョ・エクアドル外相の当国訪問

26日、パティーニョ・エクアドル外相が当国を訪問し、オルギン外相とともに合同閣

議準備会合を開催した。

(了)